

「どやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動などちょっと始めてみませんか?という思いが込められています。



■ 子ども達の笑顔がなにより楽しみです。

## 人や自然と共に楽しみながら…

今回は、エコプラザさばえで活動されている鈴木さんにお伺いしました。エコプラザは「気づき、学び、体験できる空間の創造と活用を通して、人や自然、地球と共生できる環境市民の育成を目指す」の基本理念のもとに、市民自らが環境に配慮した社会を考えていく場です。

### (特)エコプラザさばえ

鯖江市中野町73-11  
鯖江市環境教育支援センター  
(エコネットさばえ)内  
●代表者 石本 豊昭 ●活動開始 平成14年

### 1. 活動を始めたきっかけはなんですか?

うちの子どもたちがまだ小中学生の頃に、鯖江市PTA連合会で給食問題に携わりました。私は大阪から鯖江に来たので、鯖江は目の前で美味しい野菜やお米をつくっているのに、どうしてわざわざ遠くから食材を仕入れたりするんだろう?って素朴な疑問を持ちました。中学校の給食に輸入の冷凍野菜が使われていたり・・・。「地産地消」という言葉が使われ始めたぐらいの頃でした。地元の食を守ることは、土や水や緑を守ることにつながるんだと気づいて、環境問題に関心を持つようになりました。

そんな時に、まだ立ち上がったばかりの「エコプラザさばえ」で小中学生とともに環境学習に取り組む「土曜塾」に誘っていただき、ズブの素人の私でしたが、子どもたちと一緒に勉強するつもりでお引き受けいたしました。

### 2. 活動に関わって、ご自身の生活や考え方が変わったということはありませんか?

私も最初はそうでしたが、環境問題に取り組むということ非常にカタイイメージがあって、すごく我慢や制約を強いられると思われがち。でも、楽しく気軽に出来ることから始められるんですよ。

例えば、今「エコプラザ」では「マイ箸運動」を進めています。割り箸の国内年間使用量は、住宅約2万戸分の木材が捨てられているのに相当します。そのほとんどが輸入材で、海外の森が日本の割り箸のために消えていき、洪水や黄砂や異常気象の原因にもなっています。レジ袋を持参するのと同じ感覚で、皆がマイ箸を持ち歩くようになると嬉しいですね。マイ箸を持つ者同士が、どんなお箸や箸袋を持ってる?なんて言いながら楽しんでやっていますよ。

### 3. やってよかったと思うときはどんな時でしょうか?

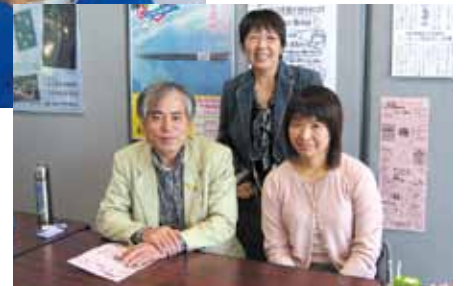
「土曜塾」は今年で5年目を迎えるんですが、子どもたちと関わっていつも楽しい発見や驚きを体験できることです。環境問題に詳しくない私が塾長という立場なので(笑)、子どもたちと同じ目線で感動を共有できます。毎回、皆で楽しみながら体験活動や環境学習をしています。

### 4. 市民活動の魅力とはなんですか?

「人との出会い」ですね! 大阪から鯖江に来て全くの天涯孤独だった私が、こんなに仲間が増えました。「土曜塾」には、毎回多くの若いボランティアスタッフたちが参加してくれて、本当に有難いです。PTAから始まったお友達づくりが、NPOセンターに出入りするきっかけとなり、市民活動の場での仲間づくりとなりました。人との出会いは私の財産、友人やスタッフという仲間は宝物です。



■ 子ども達との語らいに、学ぶこともあります。



■ たくさんの仲間と出会えました。

編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との協働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 **さばえNPOサポート**

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市市民活動交流センター内

TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058

E mail : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>